

令和7年度（2025年度） 大分大学一般選抜試験問題

出題の意図

小論文

(医学部看護学科)

※この出題の意図についての質問・照会には一切応じません。

- 1 問1 「[言葉はそれを溶かす]」の見出しの意味を考えることで、言葉が差別や偏見を解消し、対人関係を改善する力を理解させることを目的とする。この設問は、受験者の文章理解力や批判的思考力を評価することをねらう。採点にあたっては、以下の点を期待する：
- 言葉がどのように誤解や対立を解消し、人間関係を修復する手段として作用するか。
  - 謝罪や対話の意義について考察しているか。
- 問2 著者の意見を参考にしながら、自分の立場や価値観を論じることを評価する。この設問は、現代社会における社会的多様性を理解し、尊重する能力を問うことを目的とし、受験者の批判的思考力や、多様で自由な視点による論理的な表現力を評価することをねらう。採点にあたっては、文章内の著者の意見や例を踏まえ、自身の考えを論理的に展開していることを期待する。
- 2 問1 図のデータを参考に、近年、社会的問題となっている事象に対する多様な意識の特徴を読み解く力（読解力・分析力）を評価することをねらう。
- 問2 問1で読み解いた内容を踏まえ、自身の意見を言語化する（表現力）の問題である。自身の考えを展開することを通し、社会動向への関心、多様な意識に対し客観性をもって物事を思考する力、批判的思考力、論理的思考力、独創的な発想力について評価することをねらう。